

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 国語
科目 論理国語

教 科： 国語
 科 目： 論理国語
単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ 1， 3， 5 組：高熊） （ 2， 4， 6， 8 組：倉部） （ 7 組：沖山）

使用教科書： （ 『論理国語』 大修館書店 ）

教科 国語
 の目標：

論理的、批判的に考える刀を伸ばすとともに、創造的に考える刀を養い、他者との関わりの中で伝え合う【思考力、判断力、表現力等】力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書 読					
1 学期	単元 対話の精神 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「対話の精神」 平田オリザ ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	単元 世界を広げる「批評」の言葉 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「世界を広げる「批評」の言葉」 宇野常寛 ・一人1台端末の活用 等	○	○	知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	定期検査					○	○		1

2 学 期	単元 ミロのヴィーナス 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「ミロのヴィーナス」 清岡卓行	○	○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めるている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
	単元 コミュニティから見た日本 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「コミュニティから見た日本」 広井良典	○	○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めるている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
						○	○		1
	単元 科学は生きている 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者の提案する主張について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 情報の重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「科学は生きている」 中屋敷均 ・一人1 端末末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	単元 敬語への自覚、他者への自覚 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 筆者が考察した考えについて、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「敬語への自覚、他者への自覚」 橋本治 ・一人1 端末末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
						○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教 科： 国語 科 目： 古典探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（2 4 6 8 組：高熊 2 単位）（1 3 5 7 組：宮田 2 単位）（2 7 組：高熊 1 単位）（1 3 4 5 6 8 組：六谷 1 単位）

使用教科書：（『精選古典探究 古典編』『精選古典探究 漢文編』 東京書籍 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文・

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
単元 随筆を読む 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を的確にとらえる。 敬語の種類や、敬語表現の用法について理解する。 ・教材 「中納言参り給ひて」「雪のいと高う降りたるを」「二月つごもりごろに」（枕草子） ・一人 1 台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うおうとしている。	○	○	○	13
単元 史記を読む 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 「鴻門之会」 ・一人 1 台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うおうとしている。	○	○	○	8
1 学期 定期考査						○	○		1

79)	単元 日記を読む 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 日記を題材とした文学作品を読み、作品に表れている筆者の境遇や心情を読み取る 日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「門出」「物語」（更級日記） ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	14
	単元 史記を読む 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 「四面楚歌」「項王自刎」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1

2 学 期	単元 歴史物語を読む 【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 歴史物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品成立当時の社会的な背景を踏まえ、作品に表れている登場人物の心情を読み取る。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「雲林院の菩提講」「花山天皇の出家」（大鏡） ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	14
	単元 論語を読む 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言定期考査	・指導事項 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 作品に表れる考えの意義や価値などについて考える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材 「論語」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
						○	○		1
	単元 作り物語を読む 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 宮中を題材とした文学作品を読み、作品成立時代の思想や人間のありようを知る。 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品成立当時の社会的な背景を踏まえ、作品に表れている登場人物の心情や内容を解釈する。 敬語の語句の量を増やし、敬語表現を豊かにする。 助動詞の文法上の意味を正しく読み取る。 ・教材 「光源氏の誕生」（源氏物語） ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	16

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

教科： 地理歴史科

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 3・4組 伊藤）（ 1・2・5・6・7・8組 田部井）

使用教科書：（ 帝国書院 「高等学校 新地理総合」 ）

地理歴史科 科目 地理総合

単位数： 2 単位

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】地図や地理情報システムに関わる技能を習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】地理的な見方・考え方を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したり、発表したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地球的課題に対する世界の現状をとらえ、様々な課題を身近なものとしてとらえる力をつける。

科目 地理総合

の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理的環境の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、地理的な諸課題の形成に関わる現代の地理の見方・考え方を理解する。 技能：諸資料から地理的事象に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理的環境や人々の生活に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的事象に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理的環境や人々の生活の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の地理的認識を深めながら、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図と地理情報システム 【知識及び技能】日常生活の中で地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムの特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・地球上の位置と時差、地図の役割と種類について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】日常生活の中で地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムの特徴を多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	8
	結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】地図や読図などを基に日本の位置と領域について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の特質を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・グローバル化に伴い、貿易や交通、通信・観光などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】地図や読図などを基に日本の位置と領域について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の特質を多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】人々の生活部文化が地理的環境の変化によって変容する事について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自然及び社会的条件との関わりに着目して、その要因を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・世界の地形と人々の生活・世界の気候と人々の生活について学習する。（オセアニア・東南アジアを例に） ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】地理的環境の変化によって変容する事について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】自然及び社会的条件との関わりに着目して、その要因を多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	10
	世界の言語・宗教と人々の生活 【知識及び技能】言語や宗教が人々の生活に与えている影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の言語と宗教の特質を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・世界の言語・宗教と人々の生活について学習する。（西アジア・インドを例に） ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】言語や宗教が人々の生活に与えている影響について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の言語と宗教の特質を多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・歴史的背景と人々の生活 【知識及び技能】世界各地の歴史的背景が人々の生活に与えている影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から歴史的背景を多面的・多角的に考察し表現する。	・ラテンアメリカ・アフリカ・ロシア・アメリカ合衆国・東アジア・ヨーロッパの産業（農業や工業）について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】世界各地の歴史的背景が人々の生活に与えている影響について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から歴史的背景を多面的・多角的に考察し表現しているか。	○	○	○	10

2 学 期	角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・地球的課題と国際協力 【知識及び技能】地球的課題に共通する課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地球的課題について現状と要因、解決の方向性を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・地球環境問題・エネルギー・人口問題・食料問題・都市問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】地球的課題に共通する課題について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】地球的課題について現状と要因、解決の方向性を多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	10

	定期考査			○	○		1
3 学 期	・自然環境と防災 【知識及び技能】自然災害の頻度や規模、備えや対応の重要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】防災について、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・日本の地形・地震・津波・火山・気象・減災について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】自然災害の頻度や規模、備えや対応の重要性について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】防災について、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	10
	・生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】地理的な課題解決に向けた取り組みについてについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的課題について、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査と地域の展望についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・現地調査の準備、実施、発表について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】地理的な課題解決に向けた取り組みについてについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的課題について、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査と地域の展望についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							78

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 組

教科担当者： （4・6・7組：蛇石）

使用教科書： （ 詳説 日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の 目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解するとともに、歴史に関わる諸資料を活用することで課題を発見する

【思考力、判断力、表現力等】自国の歴史、グローバルな歴史を横断的・相互的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する

【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、課題解決の方法を工夫して、課題を解決する

科目 日本史探究 の 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	・我が国の歴史の展開に関わる事象の意図や意図・伝統と文化の特色などを、時局や年代、進捗、比較、相互の関連や相違などのつづらぎに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して画一的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 （1）黎明期の日本列島と歴史的環境 【知識・技能】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 【思考・判断・表現】 自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、首領社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し表現することができる。 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し時代を満ちる間いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関わりや異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 （2）歴史資料と原始・古代の展望 【知識・技能】 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し仮説を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関わりや異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	単元名 （3）古代の国家・社会の展開と画期 【知識・技能】 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治や社会や文化の特色を理解することができる。 貴族政治の展開、平安朝の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の変容、古代の社会と文化の発展を理解することができる。 【思考・判断・表現】 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などについて、小国形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義が関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠にして表現することができる。 地方の経済力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、古代の国家、社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠にして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関わりや異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元名 （5）歴史資料と中世の展望 【知識・技能】 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ったりとまとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し仮説を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 律令政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関わりや異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	単元名 （6）中世の国家・社会の展望と画期 【知識・技能】 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解することができる。 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解することができる。 【思考・判断・表現】 公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠にして表現することができる。 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の文化と文化との関係などに着目して、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠にして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1 院政の始まり 2 鎌倉文化 3 鎌倉幕府の成立 4 武士の社会 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関わりや異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	単元名 （7）近世への転換と歴史的環境 【知識・技能】 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解することができる。 【思考・判断・表現】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し表現することができる。 時代化の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し時代を満ちる間いを表現することができる。	・指導項目 1 モンゴル襲来と幕府の資遣 2 室町幕府の成立 3 幕府の衰退と庶民の台頭 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関わりや異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	7

[illegible]

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 組

教科担当者：（2・8組 北岡）

使用教科書：（『詳説 世界史』山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度【学びに向かう力、人間性等】を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 (1) 地球環境から見る人類の歴史 【知識及び技能】 人類の誕生と地球環境での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、人類の歴史と自然環境の関わりについて理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 長期にわたる地球気候の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元名 (2) 日常生活から見る世界の歴史 【知識及び技能】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、日常生活と世界の歴史の関係について理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 【思考・判断・表現】 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元名 (3) 諸地域の歴史的特質への問い 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめる技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、文明の形成について理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめる技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元名 (4) 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 古代文明の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代オリエントや南アジア、東アジア、南北アメリカの古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 文明の誕生 2. 古代オリエント文明とその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明 5. 南北アメリカ文明 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 各地域の古代文明の特質について理解している。 【思考・判断・表現】 各地域の古代文明の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地域の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元名 (5) 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシアと東アジア世界の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中央ユーラシアと東アジア世界に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 中央ユーラシア 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 中央ユーラシアと東アジア世界の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 中央ユーラシアと東アジアの関係が成立した背景や原因を考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアと東アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6

単元名 (6) 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 南アジアと東南アジア世界の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア世界と東南アジア世界の展開に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文明とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 南アジア・東南アジア世界の形成や発展、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 南アジア・東南アジアにおける社会や文化について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアと東南アジア世界の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
単元名 (7) 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の国家形成の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の国家形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. キリシア人の都市国家 3. ローマと地中海世界 4. キリスト教の成立と発展 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 西アジアと地中海世界に誕生した国家について理解している。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海世界に誕生した国家が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海世界に誕生した国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
単元名 (8) イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、その社会や宗教・文化の特色と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 イスラーム教の成立過程やヨーロッパ世界の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 イスラーム教の拡大とヨーロッパ世界が周辺社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
単元名 (9) イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. イスラーム教の諸地域への伝播 2. 西アジアの動向 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 イスラーム教が伝播した諸地域の特質や西アジアの動向について理解している。 【思考・判断・表現】 イスラーム教の伝播における影響や西アジアの動向について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
単元名 (11) ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 ヨーロッパ世界の変容と展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ世界の変容と展開に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の変容 4. 西ヨーロッパの中世文化 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ヨーロッパ世界の変容について影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ世界の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
単元名 (12) 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国の成立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界とモンゴル帝国に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について理解している。 【思考・判断・表現】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国が成立した背景やその特質を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
単元名 (13) 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 大交易・大交流の時代について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大交易・大交流の時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 大航海時代における世界の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 大航海時代の世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大交易・大交流の時代について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
単元名 (14) アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 アジアの諸帝国の繁栄について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸帝国の繁栄に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 アジアの諸帝国の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 アジアの諸帝国の繁栄について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアの諸帝国の繁栄について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3

2 学 期	単元名 (15) 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 近世ヨーロッパ世界の動向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世ヨーロッパ世界の動向に関する諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。 定期考査	・指導事項 1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 近世ヨーロッパ世界の動向について理解している。 【思考・判断・表現】 近世ヨーロッパ世界の動向を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世ヨーロッパ世界の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元名 (16) 産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 産業革命と環大西洋革命について理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命と環大西洋革命について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と環大西洋革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元名 (17) イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2. 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 国民国家の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元名 (18) アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動揺の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他の宗教との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。	・指導事項 1. 西アジア地域の変容 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 アジア諸地域の動揺について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸地域の動揺について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸地域の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元名 (19) 帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 帝国主義とアジアの民族運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義とアジアの民族運動の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。 定期考査	・指導事項 1. 第2次産業革命と帝国主義 2. 列強の世界分割と列強体制の二分化 3. アジア諸国の変革と民族運動 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 帝国主義とアジアの民族運動について理解している。 【思考・判断・表現】 帝国主義とアジアの民族運動について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義とアジアの民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	単元名 【20】 第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 第一次世界大戦と世界の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と世界の変容の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 第一次世界大戦と世界の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と世界の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元名 【21】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2. 第二次世界大戦 3. 新しい国際秩序の形成 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元名 【22】 冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】 冷戦と第三世界の台頭について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と第三世界の台頭の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 冷戦の展開 2. 第三世界の台頭とキューバ危機 3. 冷戦体制戦の高揚 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 冷戦と第三世界の台頭について理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦と第三世界の台頭について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦と第三世界の台頭について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	単元名 【23】 冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 冷戦の終結と今日の世界のつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と今日の世界のつながりの背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。	・指導事項 1. 産業構造の変化 2. 冷戦の終結 3. 今日の世界 4. 現代文明の諸相 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 冷戦の終結について理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦の終結について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							117

年間授業計画

上野 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1～8組：石浦）

使用教科書： （詳述公共（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 第1章 公共の課題 第2章 社会を作る私たち 【知識・技能】 ・自らの経験などから振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知識に継いだりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような存在であることについて理解させる。 ・自分自身が、自らのよりよい公共的な空間を作り出していくこととする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者と協調により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 Introduction 人間とは何か 1. 生涯における青年期の意義 2. 青年期と自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 4. 現代社会と青年の生き方 ・教材など 教科書・資料集・プリント、ワークシート、マイノートなど	【知識・技能】 ・自らの経験などから振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者と協調により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 第3章 人間としてよく生きる 【知識・技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知識に継いだりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような存在であることについて理解させる。 ・現代の諸課題の解決に向けて、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの規範を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探究する上から、よりよく生きる上でも必要であることについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関する諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの規範を重視する考え方を活用し、自ら他者も共に幸せになる解決方法を用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 Introduction 幸福とは何か 1. オリシアの思想 2. 善の教え 3. 人間の尊厳 4. 人間の自由と尊厳 5. 公正な社会 6. 主体性の確立 7. 他者の尊重 8. 公正な社会 ・教材など 教科書・資料集・プリント、ワークシート、マイノートなど	【知識・技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知識に継いだりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの規範を重視する考え方を活用し、自ら他者も共に幸せになる解決方法を用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元名 第4章 民主社会の倫理 【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊厳、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 Introduction 社会とは何か 1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 ・教材など 教科書・資料集・プリント、ワークシート、マイノートなど	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	単元名 第5章 民主国家における基本価値 【知識・技能】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 Introduction 民主主義の作り方 1. 安全保障の発展と民主政治の発展 2. 国民主権と民主政治の発展 ・教材など 教科書・資料集・プリント、ワークシート、マイノートなど	【知識・技能】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の発展と我が国の安全とが保障されることに関わる現実社会の事情や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	単元名 第6章 よりよい社会の形成に参加する私たち 第7章 日本国憲法の基本的性格 【知識・技能】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 Introduction 憲法はなぜ大切なのか 1. 我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	【知識・技能】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事情や課題を元に、憲法の下、適正な手段に則り、法や規範に基づいて、我が国の安全が保障されること、平和と正義とが国の安全を保障すること、基本的人権の保障など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の発展と我が国の安全とが保障されることに関わる現実社会の事情や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・2組：中村・矢野・山岸）（3・4組：森田・上野・山岸）（5・6組：中村・日比野・宮崎）（7・8組：森田・矢野・上野）

使用教科書：（数研出版 高等学校 数学Ⅱ）

教科 数学Ⅱ の目標：

- 【知識及び技能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元内容に関しての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、解などの結果について論理的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 剰余の定理や因数定理を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	・指導事項 剰余の定理、因数定理 組立除法、高次方程式の解き方 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○剰余の定理を用いて、多項式を多項式（1次・2次）で割ったときの余りを求めることができる。 ○ $P(k)=0$ である k の値の見つけ方を理解し、高次式を因数分解できる。 ○因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 ○高次方程式の解の持ち方を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ○多項式を多項式で割ったときの余りを、剰余の定理で考察できる。 ○多項式が $x-k$ で割り切れることを式で表現できる。 ○高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させて解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○係数のみ筆算や組立除法などを積極的に利用する。 ○1の3乗根 ω に関する問題に取り組む、性質を知ろうとする。	○	○	○	8
	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 2点間距離、内分・外分・直線を表す x 、 y の1次方程式、直線の方程式、平行と垂直、点と直線の距離 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○数直線上および座標平面上において、2点間の距離、内分点・外分点を求められる。 ○与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 ○2直線の平行・垂直の条件を理解し、それを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ○次元関係なく、内分点・外分点の座標を公式を用いてとらえようとする。 ○点の座標を求める際、図形の性質を用いて解こうとする。 ○直線を表す x 、 y の方程式の形を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○数直線の上の点について調べようとする。 ○ある点を通り、与えられた直線に対して垂直・平行な直線を公式を用いて解こうとする。	○	○	○	15
	第3章 図形と方程式 第2節 円 座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 円の方程式、通る3点の与えられた円の方程式、円と直線の位置関係、円の接線の方程式、2円の位置関係、2円の共有点の座標 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○与えられた条件を満たす円の方程式で表現できる。 ○3点を通る円の方程式を求められる。 ○円の接線の方程式を理解し、活用できる。 ○円貫いの点から引いた接線の方程式を求められる。 【思考力・判断力・表現力】 ○円と直線の共有点の個数を、2次方程式の解の個数から求めることができる。 ○円と直線の位置関係をさまざまな視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ x 、 y の2次方程式が常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。 ○円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心点から直線までの距離の考え方を活用して考えようとする。	○	○	○	12
	第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域 図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 軌跡（座標平面上の点、線分の内分点）、領域（境界線が直線・円・放物線） ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○直線や円などを、条件を満たす点全体の集合として考えることができる。 ○軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ○不等式や連立不等式の表す領域を図示することができる。 ○図で与えられた領域を不等式で表すことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 ○軌跡を求めるには、逆についても調べる必要があることを理解している。 ○点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 ○変数 x 、 y についての不等式を満たす点 (x, y) 全体の集合がどのような図形であるかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 ○不等式を含む命題を、不等式の表す領域を用いて証明することに興味・関心をもつ。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	・指導事項 一般角、弧度法、三角関数、相互関係、三角関数で成り立つ等式、三角方程式、三角不等式 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。 ○弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 ○三角関数の性質とグラフの特徴を相互に理解している。 ○いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ○三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ○三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。 ○三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 ○変数をおき換えることで、三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ $y=\sin \theta$ と $y=\cos \theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味、関心をもつ。 ○三角関数を含む方程式・不等式の解くことに取り組む意欲がある。	○	○	○	15
	第4章 三角関数 第2節 加法定理 加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 加法定理、なす角、2倍角の公式、半角の公式、三角方程式、三角不等式、三角関数の合成、和積の公式 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ○正接の加法定理を利用して、2直線のなす角の鋭角を求めることができる。 ○2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用して、等式を証明することができる。 ○2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用して、等式を証明することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。 ○正接の定義と加法定理を利用して、2直線のなす角を考察することができる。 ○2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式の角を統一して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○加法定理を利用して、平面上の点を回転させたときの座標の求め方を考察しようとする。 ○加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こうとする。 ○和と積の公式に関心を示し、その公式を用いて三角関数の値を求めたり、三角方程式の解を求めたりしようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 指数、累乗根、指数関数のグラフ、詩風関数を含む方程式・不等式 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○指数が整数、有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ○指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ○底と1の大小に注意して、指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○累乗根をグラフによって考察することができる。 ○指数が整数の場合だけではなく、無理数の場合まで拡張して、累乗の定義を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○指数法則が成り立つようにするには、0乗、負の整数乗、分数乗をどのように定義すればよいかと調べようとする。 ○負の数のn乗根に興味を示し、具体的に理解しようとする。 ○指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。	○	○	○	10
	第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数 対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 対数、底の変換公式、対数とそのグラフ、対数関数を含む方程式・不等式、常用対数 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ○対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ○対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ○底と1の大小に注意して、対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ○常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○指数法則から、対数の性質を考察することができる。 ○対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 ○対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。 ○やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。 ○桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。	○	○	○	14
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 平均変化率、極限值、微分係数、導関数、関数の微分、接線の方程式 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 ○微分係数の図形的意味を理解している。 ○定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 ○導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○関数の極限値の性質を直感的に理解し、その性質を利用して関数の極限値を考察することができる。 ○導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使って表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○種々の関数の極限値を、興味・関心をもって考察しようとする。 ○二項定理を利用して関数 x^n の導関数の公式の証明を、興味・関心をもって理解しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第6章 微分法と積分法 第2節 関数の値の変化	・指導事項 関数の増減と導関数、極大・極小・最大・最小 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 ○導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかくたりすることができる。 ○関数の極値が与えられたとき、関数を決定することができる。 ○導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ○不等式 $f(x) \geq 0$ を、関数 $y=f(x)$ の最小値が0以上と読み替えることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○関数の極限値の性質を直感的に理解し、その性質を利用して関数の極限値を考察することができる。 ○関数の極限値の性質を直感的に理解し、その性質を利用して関数の極限値を考察することができる。 ○導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使って表現することができる。 ○微分係数の図形的な意味と、直線の方程式の公式から、接線の方程式の公式を考察することができる。 ○関数の増減を接線の傾きから考察することができる。 ○最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、明確に意識して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○関数の増減や極値の問題を導関数を用いて調べ、解決しようとする。 ○4次関数の増減や極値を調べたり、グラフをかくたりする意欲がある。	○	○	○	14
	第6章 微分法と積分法 第3節 積分法	・指導事項 導関数と不定積分、定積分、定積分を用いた面積、グラフで囲まれた部分の面積 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 ○不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 ○与えられた条件を満たす関数や曲線の方程式を、不定積分を利用して求めることができる。 ○不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ○定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ○直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ○上下関係を入れ替わる2曲線で囲まれた面積を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ○定積分が、図形の計量に関して有用であることを認識することができる。 ○定積分の計算で、分数計算を容易にするための工夫を考察することができる。 ○面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかくて考察することができる。 ○放物線と直線の交点の座標が複雑な値であるとき、放物線と直線で囲まれた部分の面積を、定積分の公式を利用するなどして、工夫して求める方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 ○面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の1つの不定積分であることに興味・関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	既習事項の復習	・指導事項 既習事項の演習 ・教材 教科書・問題集・プリント他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○体系的に学んだことを活用し、問題を解決することが出来る。 ○公式を利用し、問題を解くことが出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ○問題に応じて、図を活用しながら問題を考えていくことができる。 ○別解を模索し、図的アプローチで問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○答えの○×だけに注目せず、プロセスを大事に問題を解こうとする。 ○模範解答・解説にない方法で解こうとする。				19
	定期考査			○	○		1
							合計
							156

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B										
教 科： 数学		科 目： 数学B		単位数： 2 単位						
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組										
教科担当者：（1組：中村）（2組：中村）（3組：森田）（4組：日比野）（5組：中村）（6組：日比野）（7組：森田）（8組：森田）										
使用教科書：（ 数研出版 高等学校 数学B ）										
教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。										
【知 識 及 び 技 能】		基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。								
【思考力、判断力、表現力等】		数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。								
【学びに向かう力、人間性等】		積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。								
科目 数学B の目標：										
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力。日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
1 学 期	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知	思	態	配 当 時 数
	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。		・指導事項 一般項、等差数列とその和 等比数列その和、複利計算 ・教材 教科書、問題集、プリント、他 ・一人1台端末の活用 等		【知識・技能】 ○等差数列の公差、一般項などを理解している。 ○等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ○等比数列の公比、一般項などを理解している。 ○等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ○等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ○等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 ○等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ○等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ○等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。		○	○	○	11
	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。		・指導事項 和の記号Σ、階差数列 いろいろな数列の和 ・教材 教科書、問題集、プリント、他 ・一人1台端末の活用 等		【知識・技能】 ○第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和が求められる。 ○階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 ○和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ○数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。 ○数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ○群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○自然数の和の公式を用いて自然数の2乗の和の公式が導けることに興味をもち、自然数の3乗の和の公式を導こうとする。また、さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。 ○群数列に興味をもち、考察しようとする。		○	○	○	11
	定期考查						○	○		1
	第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。		・指導事項 漸化式、数学的帰納法 ・教材 教科書、問題集、プリント、他 ・一人1台端末の活用 等		【知識・技能】 ○おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 ○初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ○数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 ○複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 ○自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ○ $an+1=pan+q$ を満たす数列の階差数列について、具体的に考察しようとする。 ○数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。		○	○	○	17
	定期考查						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科： 数学 科目： 数学C 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：中村） （2組：中村） （3組：森田） （4組：日比野） （5組：中村） （6組：日比野） （7組：森田） （8組：森田）

使用教科書： （数研出版 高等学校 数学C）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】

基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期							
	定期考査						
	定期考査						
2 学 期							
	定期考査						

期							
	定期考査						
3 学 期	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2章 ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル	・指導事項 ベクトルの演算・成分・内積 位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示 空間のベクトル ベクトルの成分・内積 座標空間における図形 ・教材 教科書、問題集、プリント、他 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることを理解し、具体的なベクトルを2つのベクトルで表すことができる。 ○成分表示されたベクトルの計算ができる。 ○成分表示された2つのベクトルのなす角を、内積を用いて求めることができる。 ○ベクトルを点の位置ベクトルで表すことができる。 ○位置ベクトルを活用して、3点が一直線上にあることを証明できる。 ○直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。 ○空間図形において、ベクトルの和や差を考えることができる。 ○成分表示された空間のベクトルの演算ができる。 ○空間の4点が同じ平面上にある条件を理解し、点の座標を定めることができる。 ○座標空間における2点間の距離や線分の内分点、外分点の座標、三角形の重心の座標が求められる。 【思考・判断・表現】 ○ベクトルの実数倍の性質をもとに、ベクトルの演算ができる。 ○点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用できる。 ○ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 ○位置ベクトルの一意性を利用して、線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。 ○点が線分AB上に存在する条件を活用して、点Pの存在範囲を求めることができる。 ○空間のベクトルが3つのベクトルの線形和で1通りに表される理由について、平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることから説明できる。 ○座標空間の3点で定まる角の大きさを、ベクトルを活用して求めることができる。 ○位置ベクトルの一意性を利用して、直線と平面の交点の位置ベクトルを求めることができる。 ○条件から中心と半径を考え、球面の方程式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ベクトルの演算に興味をもち、数式の演算法則との類似点を考察しようとする。 ○成分表示されたベクトルの演算法則を、ベクトルの演算法則から導き出そうとする。 ○内積の性質を、既習の知識を用いて証明しようとする。 ○様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。 ○座標空間における点の表し方、成分表示を、座標平面における点の表し方の拡張として捉えようとする。 ○様々な空間図形の考察にベクトルを活用しようとする。	○	○	○	38
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教 科： 理科 科 目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1～2, 4～8 組：渡邊・野間 ） （ 3 組：野村 ）

使用教科書：（ 高等学校 物理基礎 [第一学習社] ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元：物体の運動 【知識及び技能】 変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の位置と時間などの関係をもとに、 $x-t$ グラフや $v-t$ グラフ、 $a-t$ を描くことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、実験を通してそれらの現象を物理的に考え、レポートにまとめることができるようになる。	・速度 ・加速度 ・落下運動	【知識・技能】 変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 物体の位置と時間などの関係をもとに、 $x-t$ グラフや $v-t$ グラフ、 $a-t$ を描くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、実験を通してそれらの現象を物理的に考え、レポートにまとめることができる。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	単元：力と運動の法則 【知識及び技能】 物理における仕事、仕事率を計算することができるようになる。 力学的エネルギー保存の法則を導くことができ、式を立てることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 物理における仕事の特徴を理解し、さまざまな力がする仕事を考えることができるようになる。 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。また力学的エネルギーが保存されない場合の運動も、式を用いて考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動エネルギーと位置エネルギーの両者から、エネルギーについて成り立つ関係を主体的に導出しようとする。 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組もうとする。	・さまざまな力 ・力の合成と分解 ・力のつりあい ・運動の3法則 ・運動方程式の利用 ・摩擦力を受ける運動 ・液体や気体から受ける力	【知識・技能】 物理における仕事、仕事率を計算することができる。 力学的エネルギー保存の法則を導くことができ、式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 物理における仕事の特徴を理解し、さまざまな力がする仕事を考えることができる。 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。また力学的エネルギーが保存されない場合の運動も、式を用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動エネルギーと位置エネルギーの両者から、エネルギーについて成り立つ関係を主体的に導出しようとする。 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1

2 学 期	単元：仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 仕事の定義、仕事の原理を理解しており、物体に加えた力、重力、垂直抗力、摩擦など、さまざまな力がする仕事を計算することができるようになる。 力学的エネルギー保存の法則やその成立条件を理解しており、さまざまな運動について保存の法則の式的を的確に立てることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな状況設定において、力の向きと運動の向きを考慮し、仕事の正、負、0の区別をつけることができるようになる。 実験「振り子のおもりの速さ」では、最下点での速さを予想して実験で確かめ、速さと高さの関係、速さと質量との関係を求めることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 仕事と仕事率の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解できるようになる。 周囲と協力しながら、「振り子のおもりの速さ」の実験に見通しをもって取り組み、得られた結果をもとに、速さと高さ、速さと質量の関係を確かめようとしている。	・仕事と仕事率 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー	【知識・技能】 仕事の定義、仕事の原理を理解しており、物体に加えた力、重力、垂直抗力、摩擦など、さまざまな力がする仕事を計算することができる。 力学的エネルギー保存の法則やその成立条件を理解しており、さまざまな運動について保存の法則の式の式的を的確に立てることができる。 【思考・判断・表現】 さまざまな状況設定において、力の向きと運動の向きを考慮し、仕事の正、負、0の区別をつけることができる。 実験「振り子のおもりの速さ」では、最下点での速さを予想して実験で確かめ、速さと高さの関係、速さと質量との関係を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕事と仕事率の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 周囲と協力しながら、「振り子のおもりの速さ」の実験に見通しをもって取り組み、得られた結果をもとに、速さと高さ、速さと質量の関係を確かめようとしている。	○	○	○	14
	単元：熱 【知識及び技能】 熱容量と比熱の違いを理解し、物体に熱を与えたときの温度変化などを計算することができるようになる。 熱量の保存を用いて、2物体間や3物体間における熱のやりとりに関し、温度変化や比熱を求めることができるようになる。 熱と仕事の関係、内部エネルギーの定義のそれぞれについて理解しており、熱力学の第1法則を用いて各物理量を計算することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の物質を加熱したときの上昇温度と加熱時間との関係を表すグラフから、熱容量と比熱のそれぞれの大小を考えることができるようになる。 可逆変化や不可逆変化、エネルギーの変換について、日常にみられる現象に適用して考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	・熱と温度 ・エネルギーの変換と保存	【知識・技能】 熱容量と比熱の違いを理解し、物体に熱を与えたときの温度変化などを計算することができる。 熱量の保存を用いて、2物体間や3物体間における熱のやりとりに関し、温度変化や比熱を求めることができる。 熱と仕事の関係、内部エネルギーの定義のそれぞれについて理解しており、熱力学の第1法則を用いて各物理量を計算することができる。 【思考・判断・表現】 複数の物質を加熱したときの上昇温度と加熱時間との関係を表すグラフから、熱容量と比熱のそれぞれの大小を考えることができる。 可逆変化や不可逆変化、エネルギーの変換について、日常にみられる現象に適用して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○		1
	単元：波の性質 【知識及び技能】 波の振動数、速さ、波長など、各物理量の関係を理解し、計算して求めたり、グラフから読み取ったりすることができるようになる。 定常波ができるようすについて、波の重ねあわせ、反射を用いて理解し、隣りあう腹と腹の間隔が波長の半分になるなどの定常波の特徴も理解できるようになる。 同位相、逆位相の各場合において、波の干渉の強めあう条件、弱めあう条件の式を適用することができるようになる。 反射の法則や屈折の法則について理解しており、反射や屈折における波の進む向きを図で表すことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 y-xグラフ、y-tグラフの違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができるようになる。 縦波を横波のように表示して媒質の速さを調べたり、横波表示されたものを縦波にもどして疎密を調べたりすることができるようになる。 ストローを用いた波動実験器を作製し、波の重ねあわせや独立性、波の反射のようすなどを観察し、それ	・波の表し方と波の要素 ・波の重ねあわせと反射	【知識・技能】 波の振動数、速さ、波長など、各物理量の関係を理解し、計算して求めたり、グラフから読み取ったりすることができる。 定常波ができるようすについて、波の重ねあわせ、反射を用いて理解し、隣りあう腹と腹の間隔が波長の半分になるなどの定常波の特徴も理解している。 同位相、逆位相の各場合において、波の干渉の強めあう条件、弱めあう条件の式を適用することができる。 反射の法則や屈折の法則について理解しており、反射や屈折における波の進む向きを図で表すことができる。 【思考・判断・表現】 y-xグラフ、y-tグラフの違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。 縦波を横波のように表示して媒質の速さを調べたり、横波表示されたものを縦波にもどして疎密を調べたりすることができる。 ストローを用いた波動実験器を作製し、波の重ねあわせや独立性、波の反射のようすなどを観察し、それ 波の干渉において、水面上の各点における振動のようすが、時間の経過によってどのように変化するのかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7

	定期考査			○	○		1
	単元：音波 【知識及び技能】 音が伝わるしくみを理解し、空気中における音速を計算したり、音が伝わる時間を用いて距離を求めたりすることができるようになる。 弦の固有振動において、定常波の波長や振動数を表す式を導出し、さまざまな振動に適用することができるようになる。 閉管と開管の違いを理解し、各場合における定常波の波長や振動数を表す式を導出し、さまざまな振動に適用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 音の3要素について理解しており、オシロスコープで表示された波形の比較から、音の高低、大小、音色の違いをそれぞれ判断することができるようになる。 弦の張力や線密度によって、ギターなどの弦から出る音の高低がどのようになるのかを考えることができるようになる。 閉管や開管の気柱の振動において、気柱の圧力と密度がどのように変化するか、時間の経過に伴う振動のようすをもとに考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとする。	・音波の性質 ・物体の振動	【知識・技能】 音が伝わるしくみを理解し、空気中における音速を計算したり、音が伝わる時間を用いて距離を求めたりすることができる。 弦の固有振動において、定常波の波長や振動数を表す式を導出し、さまざまな振動に適用することができる。 閉管と開管の違いを理解し、各場合における定常波の波長や振動数を表す式を導出し、さまざまな振動に適用することができる。 【思考・判断・表現】 音の3要素について理解しており、オシロスコープで表示された波形の比較から、音の高低、大小、音色の違いをそれぞれ判断することができる。 弦の張力や線密度によって、ギターなどの弦から出る音の高低がどのようになるのかを考えることができる。 閉管や開管の気柱の振動において、気柱の圧力と密度がどのように変化するか、時間の経過に伴う振動のようすをもとに考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	10
3	単元：静電気と電流 【知識及び技能】 帯電のしくみを理解しており、帯電体の電気量と電気素量から移動した電子の個数を計算し、どちらからどちらへ電子が移動したのかを考えることができるようになる。 オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗の計算をすることができ、さらにI-Vグラフから値を読み取って抵抗を求めることができるようになる。 物質の抵抗率が導体、不導体、半導体によって異なることを理解し、さらに導体の抵抗率が温度上昇に伴って大きくなることを、原理とともに理解する。 ジュールの法則、電力量、電力の各式を理解し、さまざまな条件における各物理量を計算することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 静電気の実験において、見通しをもって取り組み、観察された結果から、各ストローがもっていた電荷の同種、異種を判断することができるようになる。 直列、並列の各接続の特徴を理解し、複雑な回路であっても、各抵抗に流れる電流や加わる電圧を求めることができるようになる。	・静電気 ・電流と抵抗 ・電気エネルギー	【知識・技能】 帯電のしくみを理解しており、帯電体の電気量と電気素量から移動した電子の個数を計算し、どちらからどちらへ電子が移動したのかを考えることができる。 オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗の計算をすることができ、さらにI-Vグラフから値を読み取って抵抗を求めることができる。 物質の抵抗率が導体、不導体、半導体によって異なることを理解し、さらに導体の抵抗率が温度上昇に伴って大きくなることを、原理とともに理解している。 ジュールの法則、電力量、電力の各式を理解し、さまざまな条件における各物理量を計算することができる。 【思考・判断・表現】 静電気の実験において、見通しをもって取り組み、観察された結果から、各ストローがもっていた電荷の同種、異種を判断することができる。 直列、並列の各接続の特徴を理解し、複雑な回路であっても、各抵抗に流れる電流や加わる電圧を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	4

学 期	単元：電流と磁場 【知識及び技能】 直線電流，円形電流，ソレノイドを流れる電流がそれぞれつくる磁場の特徴を理解しており，導線の周囲に生じる磁場の強弱や磁場の向きを判断することができる。 電磁誘導の特徴について理解しており，さまざまな条件において，誘導電流の流れる向きや，誘導起電力の大小を判断することができる。 変圧器におけるコイルの巻数と電圧の関係式や，一次と二次のコイルとで電力が保存されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 右ねじの法則をもとにして，円形電流，ソレノイドを流れる電流がそれぞれつくる磁力線のようすを描くことができる。 電力輸送のしくみを理解しており，損失を小さくするためにどのような操作をすればよいのかを導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において，見直しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとする。	・磁場 ・モーターと発電機 ・交流と電磁波	【知識・技能】 直線電流，円形電流，ソレノイドを流れる電流がそれぞれつくる磁場の特徴を理解しており，導線の周囲に生じる磁場の強弱や磁場の向きを判断することができる。 電磁誘導の特徴について理解しており，さまざまな条件において，誘導電流の流れる向きや，誘導起電力の大小を判断することができる。 変圧器におけるコイルの巻数と電圧の関係式や，一次と二次のコイルとで電力が保存されることを理解している。 【思考・判断・表現】 右ねじの法則をもとにして，円形電流，ソレノイドを流れる電流がそれぞれつくる磁力線のようすを描くことができる。 電力輸送のしくみを理解しており，損失を小さくするためにどのような操作をすればよいのかを導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において，見直しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	4
	単元：エネルギーとその利用 【知識及び技能】 太陽光，水力，風力の各発電について，どのような特徴やしきみであるかを理解する。 火力発電と，太陽光・水力・風力の各発電との違いを理解し，温室効果の原理を理解する。 原子核の放射性崩壊の種類やその特徴を理解する。 核分裂のしくみについて理解し，原子力発電における利点と課題の両方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー資源に関する調べ学習において，十分に調査し，その内容をわかりやすく整理して，他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において，見直しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとする。	・太陽エネルギーと化石燃料 ・原子力エネルギー	【知識・技能】 太陽光，水力，風力の各発電について，どのような特徴やしきみであるかを理解している。 火力発電と，太陽光・水力・風力の各発電との違いを理解し，温室効果の原理を理解している。 原子核の放射性崩壊の種類やその特徴を理解している。 核分裂のしくみについて理解し，原子力発電における利点と課題の両方を理解している。 【思考・判断・表現】 エネルギー資源に関する調べ学習において，十分に調査し，その内容をわかりやすく整理して，他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において，見直しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：小美野 佐藤 氣田 遠山 吉田久

使用教科書：（大修館 Activesports2022 大修館 保体702 新高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 「運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保しようとしている。	運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組む。	【知識・技能】 心身の健康、健康や体力の保持増進について学習した具体例を挙げている。 のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うこと通じて、気づいたりかかわりあったりすることができる。 【思考・判断・表現】 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。 体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組み合わせの例を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	20
	陸上競技 【知識及び技能】 ・それぞれの技術に、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解できる。 ・技術と関連させた補助運動や部分練習を取り入れ、繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとしている。	走り幅跳び・ハードル走 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。	【知識・技能】 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称について、言ったり書き出したりしている。 踏切では、状態を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ足を素早く引き上げることができる。 【思考・判断・表現】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	
	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したブレイの判断に着目し観察することで、個人やチームの学習課題が明確になり、学習成果を高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。	ネット型「バレーボール」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。 【思考・判断・表現】 作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為について自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	16

2 学 期	球技 【知識及び技能】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	ゴール型 「バスケットボール・サッカー」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識及び技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間と共に球技を楽しむための調整の仕方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にしようすることができる。	○	○	○	18
	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することによって、個人やチームの学習課題が明確になり、学習成果を高められることを理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	ネット型「テニス」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識及び技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 サーブでは、ボールを狙った場所に打つことができる。 ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活躍を振り返ることができる。 チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活躍を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	
	水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	クロール ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、「事故に適した泳法を身につけ、その効率をたじやめて泳ぐ」	【知識及び技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり早く泳いだりする。 【思考力・判断力・表現力等】 水泳の特性を踏まえて、泳法などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組みなどの課題を発見したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組む。	○	○	○	

3 学 期	陸上競技 【知識及び技能】 ・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	長距離走 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。	【知識及び技能】 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称について、言ったり書き出したりしている。踏切では、状態を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ足を素早く引き上げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	18
	体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	体育理論 ・スポーツから得られる恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることを理解する。	【知識及び技能】 近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすること。	○	○	○	6
							合計
							78

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科				保健体育	科目	保健
教科：	保健体育	科目：	保健	単位数：	1	単位
対象学年組：第	2 学年	1 組～	8 組			
教科担当者：	（1 組：佐藤）（2 組：小美野）（3 組：小美野）（4 組：小美野）（5 組：小美野）（6 組：小美野）（7 組：小美野）（8 組：佐藤）					
使用教科書：	（大修館 保健702 新高等保健体育）					
教科	保健体育	の目標：				
【知識及び技能】		現代社会と健康の考え方について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができる。				
【思考力、判断力、表現力等】		現代社会と健康の考え方について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができる。				
【学びに向かう力、人間性等】		現代社会と健康の考え方について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができる。				
科目	保健	の目標：				

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	（3）生涯を通じる健康 （7）生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	01_思春期と健康 02_性意識との変化と性行動の選択 03_結婚生活と健康 04_妊娠・出産と健康 05_家族計画 06_加齢と健康 07_高齢社会に対応した取り組み ・タブレット端末 ・ワークシート	【知識・技能】 ①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあること、その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもち、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係すること、また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ③結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ④加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9

	定期考査	1学期期末考査 及び 答案返却・解説	上記 思春期と健康 性意識との変化と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画 加齢と健康 高齢社会に対応した取り組み による	○	○	○	2
2 学 期	(3) 生涯を通じる健康 (f) 労働と健康 【知識及び技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をすることが必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	08.働くことと健康 09.労働災害の防止 10.働く人の健康づくり ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート	【知識・技能】 ①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたこと、また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であること、その際、仕事のストレスによる精神疾患が含まれていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つこと、その際、ストレスに対する気付きへの援助、リラクゼーションの指導など、メンタルヘルスクアが重要視されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であること、また、そのために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ②働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ③生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ④健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①労働と健康、環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	(4) 健康を支える環境づくり (7) 環境と健康 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること、また、環境衛生活動は、学校や地の環境を健康に適したものとしよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	01.大気汚染と健康 02.水質汚濁・土壌汚染と健康 03.健康被害を防ぐための環境対策 04.環境衛生に関わる活動 05.食品の安全性と健康 06.食品の安全性を確保する取り組み ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート	【知識・技能】 ①人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査	2学期期末考査 及び 答案返却・解説	上記 働くことと健康 労働災害の防止 働く人の環境づくり 待機尾アセント健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害を防ぐための環境対策 環境衛生に関わる活動 食品の安全性と健康 食品の安全性を保障する取り組み による	○	○	○	2
3 学 期	(4) 健康を支える環境づくり (c) 様々な保健活動や社会的対策 【知識及び技能】 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることについて理解を深める。 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、また、それらを表現するには、適切な健康情報の活用が有効であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	07.保健制度とその活用 08.医療制度とその活用 09.医薬品の制度とその活用 10.様々な保健活動や対策 11.誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート	【知識・技能】 ①我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査	3学期期末考査 及び 答案返却・解説	上記 保健医療制度とその活用 医療制度とその活用 様々な保健活動や対策 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり による	○	○	○	2 合計 38

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術

科目：音樂Ⅱ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：井上 治子

使用教科書：（ 教育出版 音樂Ⅱ Tutti+

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音樂Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文法的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	斉唱、二部合唱 【知識及び技能】のびのびとした発声、明瞭な発音で歌わせる。 【思考力、判断力、表現力等】強弱記号や発想標語を理解し、音楽的視点から理由を考察し、表現させる。歌詞の時代背景に興味を持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】歌唱表現の方法について考察し、主体的に表現させる。	・歌唱音源の鑑賞 ・歌詞の時代背景などについての学習 ・曲種に応じた発声を工夫する	○		○	知識技能：のびのびとした発声・明瞭な発音で歌うことができる。 思考判断表現力：強弱記号や発想標語を理解し・音楽的視点から理由を考察し、表現に活かすことができる。歌詞の時代背景に興味を持ち、理解しようとしている。 学びに向かう力・人間性：歌唱表現の方法について考察し、積極的に発言することができる。主体的に表現しようとしている。	○	○	○	6	
	ギター実技 知識技能：音楽Ⅰでの学習をもとに、簡単なコードで弾き語りできるようにする。思考判断表現力：曲に応じて指使いを工夫し、よりよい響きを追求させる。学びに向かう力・人間性・判断力：自分自身の演奏の振り返り他者の演奏、範奏などを聴き、課題点や良い点を見出し自身の演奏に活かすよう指導する。	・範奏の鑑賞 ・コードによるリズム練習 ・コードによる伴奏 ・TAB譜の読み取り ・ダイアグラムの読み取り ・伴奏法		○	○	知識技能：ギターの種類やそれぞれの特性について理解している。基本的なコードで伴奏ができる。思考表現判断力：曲に応じて指使いを工夫し、よりよい響きを追求する。曲に応じて伴奏法を工夫する。学びに向かう力・人間性・判断力：自分自身の演奏の振り返りや他者の演奏・範奏などを聴き、課題点や良い点を見出し自身の演奏に活かしている。	○	○	○	20	
2 学 期	グループアンサンブル 知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想標語を理解して演奏できるようにする。思考表現判断力：楽譜に書かれた音楽要素を理解し、その理由を考えさせる。学びに向かう力・人間性・判断力：友人と協力してよりよい練習方法を考え、実践し、よりよい表現を追求させる。	・候補曲の鑑賞 ・曲決め ・楽譜の読み取り ・個人練習 ・グループ練習 ・発表		○	○		○	○	○	15	
	合唱 知識技能：正しい発声方法で、のびのびと歌唱させる。思考表現判断力：パートの役割や他パートとのかわりを意識して歌わせる。学びに向かう力・人間性・判断力：自分たちなりの表現を追求させる。	・曲決め ・楽譜の読み取り ・歌詞の理解 ・パート練習 ・全体練習 ・発表	○		○	知識技能：正しい発声方法で、のびのびと歌唱	○	○	○	15	
3 学 期	クラス合奏 知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想標語を理解して演奏できるようにする。思考表現判断力：楽譜に書かれた音楽要素を理解し、その理由を考えさせる。学びに向かう力・人間性・判断力：友人と協力してよりよい練習方法を考え、実践し、よりよい表現を追求させる。	・曲の鑑賞 ・パート決め ・楽譜の読み取り ・個人練習 ・グループ練習 ・発表		○	○	知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想	○	○	○	22	
											合計
											78

高等学校 令和6度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組 美術選択者

教科担当：村井良子

使用教科書：（ 光村図書 美術 2 ）

教科 芸術 **の目標：**

【知 識 と び 技 能】美術Ⅰで体得した様々な技法を応用し制作につなげる
【思考力、判断力、表現力等】独自の表現を模索し、よりよい作品を目指し創意工夫する。
【学びに向かう力、人間性等】条件や注意事項に留意して意欲的に製作する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
意図に応じて材料や用具の特徴を生かすとともに、表現方法を創造工夫して主題を追求し、創造的に表わす。目的や機能などと考えて発想や構想し、機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。	自然や自己、生活などを見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成する。表現形式の特徴をかしら形態や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。他者の造形的なよや美しさに感じ取り、作者の心情や意図と創造的表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	主体的に創造活動に取り組み、作品の造形的なよや美しさに感じ取り、作者の表したい表現などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 影	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	写真模写 【知識及び技能】 ・鉛筆表現の追求 【思考力、判断力、表現力等】 ・客観的に形態を把握 【学びに向かう力、人間性等】 ・完成度の追求	濃さの違う鉛筆を使い分け、複雑な 諧調を再現する 参考作品を常時掲示し、主体的に表 現を工夫する力をつける。	○		○	・模写のやり方を知り、効果的に補助線を引く ことができる。 ・原稿の諧調を丁寧に観察し、模写が出来る。 ・より良い作品を目指し微調整ができる。 ・客観的に自己の作品を見直し、作品を手直し できる。	○	○	○	28
	鉛筆デッサン 【知識及び技能】 ・鉛筆表現の追求 【思考力、判断力、表現力等】 ・パルル、空間表現、質感、重量 感などさまざまな要素を表現 【学びに向かう力、人間性等】 ・完成度の追求	・構図どり(エスキース) ・形をとる(バース) ・陰影表現の方法 ・デッサンの基礎についての復習 ・静物デッサンの基本	○		○	・モチーフをよく観察し、表現方法を工夫する ことができる。 ・全体を見て諧調を整えることができる。 ・質感や空間表現を追求しより良い作品を目指 し試行錯誤することができる。	○	○	○	6
3 学 期	木彫（スプーン制作） 【知識及び技能】 道具を安全に適切に扱い、素材とし ての木の魅力を発見。 【思考力、判断力、表現力等】 用途や、形の美しさを考えて制作。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い作品を目指し主体的に製 作。	道具を安全に適切に扱い、木の材料 としての魅力を発見する。 用途や、形の美しさを考え、制作す る。	○	○	○	・木工技法を理解し、正しく道具を使うことが できる。 ・使い手のことを考えて形を決定することが出 来ている。 ・より良い作品を目指し丁寧に製作することが 出来る。	○	○	○	24
	シリコンリトグラフ 【知識及び技能】 平版の特性を理解し、効果的に作品 製作へと生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 重ね刷りの美しさを追求し多様な表 現を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い作品を目指し主体的に製 作。	平版の原理を理解しその魅力を深く 学ぶ。重ね刷りによる偶然の色合い や模様の美しさを知り多様な表現へ とつなげる。	○		○	・平版の原理と特性を理解し作品を制作する ことができる。 ・重ね刷りによってできる多様な表現から自分 の目指す表現に繋げることができる。 ・より良い作品を目指し試行錯誤しながら刷り を重ねることができる。	○	○	○	20
										合 計
										78

合計	78
----	----

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現II

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現II 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（1～8組： 抱山） （1,6 組：宮崎 ） （2,3組：藤元 ） （4, 7組：岡田 ） （5, 8組：河村 ）
使用教科書：（ Vision Quest Ace（啓林館） ）
教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中
【思考力、判断力、表現力等】知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，

科目 論理・表現II の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働き や役割を理解している。 【技能】 目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張	目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手・読み手など他者に配慮しながら，主体的・自律的に表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】	書					
1 学 期	Lesson 1 What is your future goal? 話題 将来の目標	言語 適切な主語を用いる 論理 文と文をつなぐ	○	○	○	○		【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	5
	Lesson 2 What school events do you have? 話題 学校生活	言語 適切な動詞を用いる 表現 好きな学校行事【書くこと】 論理 パラグラフ（パラグラフの基本構成／列挙・順序）	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	5
	中間考査								○	○		1
	Lesson 3 Who is the best athlete? 話題 スポーツ	言語 時を表す 表現 好きなアスリートと実績【書くこと】 論理 パラグラフ（例示・追加）		○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	5
	Lesson 4 Is social media safe? 話題 情報時代	言語 義務・必要・推量を表す 表現 ソーシャルメディアの利点と欠点【書くこと】 論理 パラグラフ（比較・対照）		○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	Lesson 5 How does overusing energy affect us? 話題 環境問題	言語 情報を加える（1） 表現 エネルギーの使い過ぎによって引き起こされる問題【書くこと】 論理 パラグラフ（原因・理由・結果）		○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	期末考査								○	○		1
2 学 期	Lesson 6 What are some culture differences? 話題 文化	言語 情報を加える（2） 表現 訪れたい国と文化【書くこと】 論理 主張や理由の根拠を示す	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? 話題 言語教育	言語 情報を加える（1） 表現 第二公用語としての英語【書くこと】 論理 リーディングの要約	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6
	中間考査								○	○		1
	Lesson 8 Is Japan open enough? 話題 社会	言語 情報を伝える 表現 日本の社会【話すこと（やり取り）】 論理 リスニングの要約	○	○	○	○	○	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等	○	○	○	6

	Lesson 9 What if you were rich? 話題 願望	言語 条件と仮定を表す 表現 想像上の状況[書くこと] 論理 スピーチ[話すこと（発表）]						【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等						6
	Lesson 10 How might AI affect our lives? 話題 科学技術	言語 数量を表す 表現 AIと共に働くこと[書くこと] 論理 プレゼンテーション[話すこと（発表）]						【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等						6
	期末考査													
3 学 期	Lesson 11 What is a healthy life? 話題 健康	言語 比較を表す 表現 睡眠時間の賛否[書くこと] 論理 ディベート[話すこと（やり取り）]						【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等						6
	Lesson 12 What is important when we sell chocolate? 話題 ビジネス	言語 否定を表す 表現 チョコレートを販売する上で重要なこと[書くこと] 論理 ディスカッション[話すこと（やり取り）]						【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) ペーパーテスト：小テスト・定期考査等						6 合計 78

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学入門

教科：理科 科目：化学入門 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組・3組・5組・7組（選択者）

教科担当：（1組：吉田）（3組：吉田）（5組：吉田）（7組：吉田）

使用教科書：（化学（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学入門 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元「電池と電気分解」 【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについて、電池、電気分解のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、電池、電気分解について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 電池、電気分解に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の変化 2章 電池と電気分解	【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、電池、電気分解の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 電池、電気分解について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電池、電気分解について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	単元「物質の状態」 【知識及び技能】 物質の状態とその変化について、固体の構造を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、固体の構造について見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 固体の構造に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	1編 物質の状態 1章 固体の構造	【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験などを通して、固体の構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 固体の構造について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 固体の構造について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
1	定期考査			○	○		1

[illegible]

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物入門

教 科： 理科 科 目： 生物入門 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 5 組

教科担当者： （5組：太田）

使用教科書： （ 生物（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元「生命の起源と細胞の進化」 【知識及び技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「共通性と多様性をつなぐ進化」 「生命の誕生」 「生物の多様性と地球環境の変化」	【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」 【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝的変異」 「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」 「進化の定義と自然選択による進化」 「遺伝子レベルでみる進化」 「種分化」	【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元「生物の系統と進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物の系統」 「生物の系統分類」 「霊長類のなかのヒト」 「人類の出現と変遷」	【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	単元「細胞と物質」 【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」	【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				11
	定期考査			○	○		1
	単元「代謝とエネルギー」 【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」	【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	単元「遺伝情報とその発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				7
	定期考査			○	○		1
	単元「遺伝情報とその発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」	【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				8

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目

教科： 科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：吉田浩・宮田）（2組：高熊・北岡）（3組：森田・野村）（4組：宮崎敬・伊藤）（5組：中村・日比野）（6組：岡田・三井）（7組：小美野・蛇石）（8組：田部井・井上）

使用教科書：（ 課題探究メソッド 2nd Edition（啓林館） ）

教科 総合的な探究の時間・人間と社会 の目標：

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間・人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会に関わる探究の過程において、日ごろの学習成果を活用しながら、地域や社会における課題に気づき解決へと導ける力を身に付けるとともに、身に付けた力を自己実現に結びつけられるようにする。	地域や社会と自分自身との関わりの中から問いを見だし、情報を収集し分析する中で課題を設定し、仮説を立て、調査や実験などを通して検証する一連の手法を身に付けるとともに、探究の成果を論理的にまとめ、適切に表現する力	地域や社会に関わる探究活動に自ら考え行動するとともに、自他を尊び協働できる人間性と社会性を育て、社会の中で活躍し自己実現できる人材を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した先行研究や基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら自ら設定した問いや仮説を磨き、研究結果を分析し、研究内容について文章にまとめたりプレゼンテーションを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。	・課題研究の進め方 ・個人探究論文テーマに沿って情報(先行研究)を収集 ・リサーチクエスションについて ・リサーチクエスションの設定 ・仮説について ・仮説の設定 ・個人探究論文テーマ・研究計画書を再検討 ・個人探究論文テーマ・研究計画書を最終決定 ・個人探究論文テーマに沿って情報(先行研究)を収集 ・調査・研究の実施	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。 【知識・技能】 情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を理解できている。 【思考・判断・表現】 情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した先行研究や基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら自ら設定した問いや仮説を磨き、研究結果を分析し、研究内容について文章にまとめたりプレゼンテーションを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。	・データのまとめ方 ・データ分析、図表の作成 ・結果のまとめと考察 ・中間発表に向けた準備 ・中間発表と講評（グループ） ・研究の方向性を再検討 ・調査・研究 ・データ分析、図表の作成 ・結果のまとめと考察 ・ポスター作成について ・ポスター作成 ・個人探究論文執筆 ・個人探究論文提出	【知識・技能】 キーワードの重要性、文章の読み方を理解できている。 【思考・判断・表現】 キーワードの重要性、文章の読み方を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 キーワードの重要性、文章の読み方を意欲的に追究しようとしている。 【知識・技能】 問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を理解できている。 【思考・判断・表現】 問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した先行研究や基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら自ら設定した問いや仮説を磨き、研究結果を分析し、研究内容について文章にまとめたりプレゼンテーションを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。	・個人探究論文再検討 ・ポスター作成 ・発表練習 ・ポスター発表会（クラス） ・ポスターによる個人口頭発表（学年） ・クラス代表口頭発表（学年） ・まとめ	【知識・技能】 探究の成果を論理的にまとめ、研究論文とポスターを作成し、適切に表現する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 探究の成果を論理的にまとめ、研究論文とポスターを作成し、適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の成果を論理的にまとめ、研究論文とポスターを作成し、適切に表現する方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 ・課題研究を行う基本姿勢を理解することができる。 ・研究テーマに関係した先行研究や基礎知識の内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループの生徒やメンターの教員と議論しながら自ら設定した問いや仮説を磨き、研究結果を分析し、研究内容について研究論文やポスターにまとめたりプレゼンテーションを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら課題を発見し、課題を解決しようと調査・研究を主体的に進めることができる。						合計 39